



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

2017年2月1日 発行

平成29年第4週(1月23日~1月29日)

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~4週
	第3週	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	142144 28.66	1239 ○25.81	1273 ○26.52	▲	551 ○27.55	561 ○28.05	▲	79 ○15.80	73 ○14.80	▽	278 ○27.80	346 ◎34.80	▲	331 ○25.46	293 ○22.54	▽	3363
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1215 0.38	7 0.23	5 0.17	▽	4 0.31		▽				3 0.50	4 0.67	▲		1 0.13	△	18
咽頭結膜熱	950 0.3	6 0.20	8 0.27	▲	3 0.23	6 0.46	△				3 0.50	2 0.33	▽				27
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6282 1.99	132 4.40	185 6.17	▲	86 6.62	103 7.92	▲	2 0.67	5 1.67	△	16 2.67	31 5.17	△	28 3.50	46 5.75	▲	487
感染性胃腸炎	22140 7	132 4.40	110 3.67	▼	54 4.15	45 3.46	▼		2 0.67	△	39 6.50	39 6.50		39 4.88	24 3.00	▼	578
水痘	1101 0.35	9 0.30	22 0.73	△	6 0.46	15 1.15	△	2 0.67		▽		2 0.33	△	1 0.13	5 0.63	△	63
手足口病	681 0.22	10 0.33	3 0.10	▽	2 0.15	1 0.08	▽				8 1.33	2 0.33	▽				14
伝染性紅斑	353 0.11	5 0.17		▽	3 0.23		▽				1 0.17		▽	1 0.13		▽	6
突発性発しん	1299 0.41	20 0.67	18 0.60	▽	6 0.46	5 0.38	▼	2 0.67		▼	7 1.17	9 1.50	▲	5 0.63	4 0.50	▽	67
百日咳	31 0.01	1 0.03	1 0.03		1 0.08	1 0.08											2
ヘルパンギーナ	87 0.03	5 0.17		▼	1 0.08		▽							4 0.50		▼	11
流行性耳下腺炎	1873 0.59	26 0.87	15 0.50	▼	9 0.69	4 0.31	▼	2 0.67	1 0.33	▼	14 ◎2.33	10 1.67	▼	1 0.13		▽	118
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	9 0.01																
流行性角結膜炎	378 0.55		1 0.13	△		1 0.25	△										4
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	34 0.07		1 0.10	△		1 0.25	△										2
クラミジア肺炎	7 0.01																
マイコプラズマ肺炎	293 0.62	4 0.40	4 0.40		3 0.75	2 0.50	▽				1 0.50		▽		2 0.67	△	24
細菌性髄膜炎	8 0.02	1 0.10		▽										1 0.33		▽	1
無菌性髄膜炎	16 0.03																

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	無症状病原体保有者			1		
	疑似症患者	1				
E型肝炎	患者	1				
アメーバ赤痢	患者			1		

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	8	16	53	49	71	88	84	80	58	84	84	362	77	22	合計
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
	30	41	19	19	15	13									1273
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		1	1	1								1			5
咽頭結膜熱			6		1							1			8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	8	10	9	27	28	21	19	17	16	25		3	185
感染性胃腸炎	1	2	5	8	14	8	8	13	9	11	4	20	4	3	110
水痘			1	1	3	4	6	3			2	2			22
手足口病		1	2												3
伝染性紅斑															
突発性発しん		11	7												18
百日咳												1			1
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎			1	1		2	1	1	2	5	1	1			15

<平成28年12月 月報>

2017年1月17日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～12月
	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 23	16	10	4	8	5	2	3	3	4	230
	定点当り 2.30	1.60	2.50	1.00	8.00	5.00	1.00	1.50	1.00	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 6	4	2	3	1		3	1			72
	定点当り 0.60	0.40	0.50	0.75	1.00		1.50	0.50			
尖圭コンジローマ	報告数 1	3		1			1		1	1	33
	定点当り 0.10	0.30		0.25			0.50		0.33	0.33	
淋菌感染症	報告数 3	4		1			1		2	3	29
	定点当り 0.30	0.40		0.25			0.50		0.67	1.00	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 9	6	3		2				4	6	70
	定点当り 0.90	0.60	0.75		2.00				1.33	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 18	17	7	8	3		1	1	7	8	208
	定点当り 1.80	1.70	1.75	2.00	3.00		0.50	0.50	2.33	2.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

<トピックス>

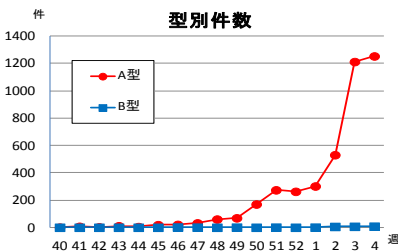
【インフルエンザ情報】

インフルエンザの定点当たり報告数は、置賜地区で警報レベル、村山地区、最上地区、庄内地区で注意報レベルとなっています。県平均の定点当たり報告数は、第2週から注意報レベルで推移しています。

- ・インフルエンザ
警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人
- ・第4週 定点当たり報告数
村山地区:28.1人 最上地区:14.6人
置賜地区:34.6人 庄内地区:22.5人 (県平均:26.5人)

1 定点医療機関情報(第4週)

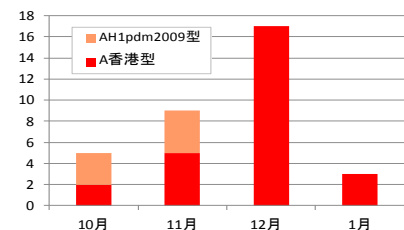
迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数



	A型	B型
村山	550	3
最上	72	1
置賜	345	1
庄内	287	3
合計	1254	8

※型別不明:11件

2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 1月25日現在)



(2016-2017年シーズン)

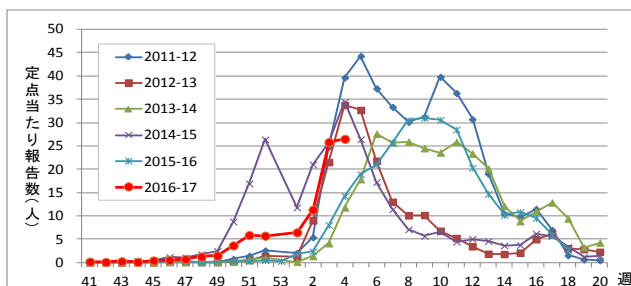
ウイルス型	分離数
AH1pdm2009型	7
A香港型	27

※AH1pdm2009型は、庄内地区の検体からのみ分離されている。

3 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第4週)

種別	村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
幼稚園・保育所	4	1	2	1
小学校	10	1	9	5
中学校	2	0	3	1
高校	5	0	0	2
福祉施設 (老人福祉施設等)	0	0	1	1
その他	1	0	0	1

4 定点当たり報告数の推移(過去5シーズンとの比較)



インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。

こまめな手洗いとマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

